

クラーク記念国際高等学校スクール・ポリシー

クラーク記念国際高等学校 スクール・ミッション（建学の理念）

クラーク記念国際高等学校は、北海道開拓の父として知られるウィリアム・S・クラーク博士の「Boys, be ambitious!」という高邁な精神を学びの理念として受け継ぎ、「誰もが夢を持ち、希望をかなえられる学校」を目指し、1992年に開校しました。

教育には、社会や未来を変える力、世代を超え国境を越えていく力があります。

クラーク記念国際高等学校は、こうした教育の可能性を追い求め、子供たち一人一人が自らの未来を切り拓き、夢に向かって挑戦し続けることのできる力を身に付けることができるよう、変えるべき教育を変え、創りたい教育を創り続けます。

クラーク記念国際高等学校 学校教育目標

夢の実現に向かって挑戦しようとする高い志を持ち、困難に直面しても失敗や挫折を恐れることなく自分を信じて挑戦し、自らの未来をたくましく切り拓こうとする意欲や態度を育み、多様な人々と協働しながら持続可能な社会の創り手となる人間を育成する。

クラーク記念国際高等学校 校訓

夢：夢の実現に向かって挑戦しようとする高い志を持つ

挑戦：困難に直面しても失敗や挫折を恐れることなく自分を信じて挑戦し、自らの未来をたくましく切り拓こうとする

達成：多様な人々と協働しながら持続可能な社会の創り手となる

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 自己の在り方生き方について考え、自らの夢や目標に向かって粘り強く挑戦しようとする生徒
- 2 これまでの自分を変え、世界や可能性を広げ、なりたいと願う自分になるために、目的意識を持って得意なことをさらに磨き、苦手なことにも取り組もうとする生徒
- 3 自分の学びたいことを思い切り学ぶことができる本校の柔軟な学びのシステムを理解し、探究心や向上心を持って学習を進め、探究活動、学校行事、部活動、生徒会活動やボランティア活動などにも積極的に取り組む生徒
- 4 広く社会に関心を持ち、地域及び国内外で、よりよい社会づくりに参画しようとする生徒
- 5 異なる文化や言語、多様な価値観や考え方を理解し、外国語によるコミュニケーションや海外語学研修等に興味・関心を持つ生徒

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 1 知識・技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決するといった「確かな学力」を育成します。
- 2 主体性、多様性、協働性などの「非認知能力」を育成します。
- 3 「確かな学力」と「非認知能力」を一体的に育むため、各教科や総合的な探究の時間において、「探究」を基盤に据えた学びを展開します。
- 4 グローバル化が急速に進展する中で、文化や考え方の多様性を理解し、地球規模の諸課題や地域の課題を自らの課題として捉え、多様な人々と協働しながら課題を迫及したり、解決しようとしたりするグローバル教育を充実します。
- 5 情報化が急速に進展する中で、時代を超えて普遍的に求められる「プログラミング的思考」を育むとともに、情報と情報技術を活用しながら問題の発見・解決に向けて探究するプログラミング教育を充実します。
- 6 柔軟な教育課程を編成することができる通信制高校の強みを生かし、コース教育を充実します。

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 1 校訓である「夢・挑戦・達成」を体現し、予測困難な時代であっても、自らの人生をたくましく切り拓くとともに、一人一人が持続可能な社会の創り手となる。
- 2 社会的・職業的に自立した人間として、広い視野、理想を実現しようとする高い志や意欲を持って主体的に学びに向かい、学んだことを活用して自分なりに試行錯誤したり、多様な人々と対話や協働したりしながら課題を解決しようとする。
- 3 初等中等教育の最後の段階である教育機関として、一人一人の生徒の進路に応じた多様な可能性を伸ばし、生涯にわたって探究を深める未来の創り手として、高等教育機関等や社会での活動へと送り出していく。